

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

所管課				社会福祉課				担当班	社会班
事務事業名	コード	13110	高齢者筋力向上トレーニング事業	予算科目	会計	款	項	目	
					介護	5	1	2	
基本施策	5	保健の充実	根拠法令	あさひ健康福祉センターの設置及び管理に関する条例等					
施策の展開	11	健康づくりの推進	戦略事業	54	高齢者筋力向上トレーニング事業				
施策の展開			戦略事業						
								事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 16 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		高齢者を対象に、転倒による骨折や加齢による運動機能の低下を防ぐため、高齢者向けのウォーキングマシン・エアロバイク等の筋力を高めるトレーニング機器及びマット・ボール等を使用して、専門のトレーナーの指導を受け、健康な体作りを図る。 実施場所は、あさひ健康福祉センター2階(パークゴルフ場管理棟2階)で週4日実施(水・金曜日休館)指導の時間は、午前10時から午後4時まで	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
福祉の増進を図り、住民の健康増進、レクリエーション活動の場として建設され、子供から大人まで楽しめる施設として、あさひ健康福祉センターがオープンし、平成16年にその施設の中で高齢者の介護予防として、軽運動ができるスペースを設置した。		平成16年当初は週3日の開設であったが、特定後診後の保健指導を受けている方や病院でのリハビリの打ち切りの方などの利用が増え、週4日の開設となっている。(H18年度まで週3日、H19年度は週4日、H20年度は週5日、H21年度より週6日、H25年度より週4日)	開始当初は、福祉センターの1階ロビーで行っていたが、パークゴルフ場の開場と共に管理棟の2階に移ったため、階段で2階に行かなくてはならなくなり、利用しづらくなった、との利用者からの意見がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位:千円	
1.委託料	4,274	専門指導員の派遣・事務委託	
	0		
	0		
	0		
	0		
② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位:千円	
1.国庫支出金	0		
2.都道府県支出金	0		
3.地方債	0		
4.その他	0		

事業費	費目内訳	1. 委託料	千円	9,450	3,624	3,596	4,274	4,514
			千円					
			千円					
			千円					
			千円					
	事業費計 (A)		千円	9,450	3,624	3,596	4,274	4,514
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
5. 一般財源		千円	9,450	3,624	3,596	4,274	4,514	

前年度増減理由	指導員(有資格者)の賃金増による
---------	------------------

従事職員数	常時	1人	最大	人	×	日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	---	---	---	---	----	----

前年度増減理由	指導員(有資格者)の賃金増による
---------	------------------

従事職員数	常時	1人	最大		人	×		日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	--	---	---	--	---	---	----	----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

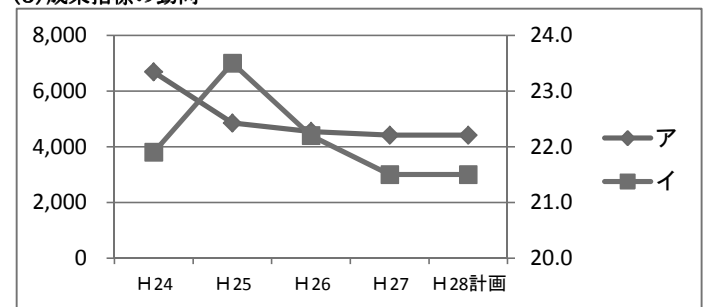
① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
27年度実績(27年度に行った主な活動)								
高齢者向けトレーニング機器を使用し、専門スタッフの指導による運動機能向上トレーニング。		ア 開設日数	日	306	206	205	205	205
		イ						
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
対象								
原則65歳以上の高齢者		ア 利用者数	人	6,688	4,851	4,546	4,416	4,416
意図								
高齢者が専門家によるトレーニングや健康指導を受けることによって、運動する習慣をつけ、健康な体になる。		イ 1日当たり平均利用人数	人	21.9	23.5	22.2	21.5	21.5
対象意図								

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				
		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通			⑦
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果				
		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨	(7)		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐完了☐順調☒概ね順調☐停滞☐実施困難																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)		トレーニングマシンによっては、「順番待ち」が起きる状態である。しかし、広さの関係もあり機器の増設には限界がある。 営業日を週6日にもどすことも考えられるが、その場合コスト増は避けられない。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	② 成果の状況		成果指標ア 成果指標イ					成果比較					23年度 24年度					24年度 25年度					25年度 26年度					26年度 27年度					27年度 28計画																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			成果指標のタイプ					数値増＝成果向上					数値増＝成果向上					2497					△ 1,837					△ 305					△ 130					0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
								数値増＝成果向上					3.8					1.6					△ 1.3					△ 0.7					0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		営業日を週6日から4日に縮小したため、年間利用者数の減少が続いている。 1日あたりの平均利用者数はほぼ横ばいとなっている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取組む事項について記載)		時期		内容		今後の方向性		拡大 縮小		現状維持 廃止・休止		見直し その他 (統合)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											